

Jenkins + vimenv で
最新のVimを使おう！

raa0121

自己紹介



- raa0121
 - 札幌からLTのために来ました
 - Sapporo.vim
 - 本業はプログラマーというより運用
 - 趣味で使うメインの言語はRuby
 - Lingrに住み着いています
 - VimAdvBotとか作ってました
 - Qiita版に対応しないと...

Jenkins 知ってる人！

挙手



vimenv 知ってる人！

挙手



Jenkinsとは

- Java 製の CI(継続的インテグレーション)用アプリ
 - travis-ci とは違い、自分のサーバーにインストール
 - ソースの更新毎にビルド・テストを実行
 - シェルスクリプトが書ければどんなことも出来る
 - 最近流行りのLingr や HipChat、Slack と連携もできる

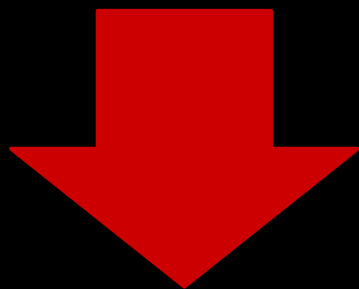


vimenvとは

- 私製の rbenv の fork
 - ruby と rb を vim に一括置換しただけ
 - vim-build というプラグインを作ってくれた人がいる
 - いつか anyenv に入りたいとか思っていたり思ってたなかったり

で、どう組み合わせるの？

- Vim は <https://code.google.com/p/vim/> で管理されてる
でも今回はvim-jp.orgのgithub ミラーを使います(Marcurial むずいです)
 - 更新時は必ずパッチ番号が付与される
 - つまり必ずバージョンがインクリメントされる
 - コミットコメントからバージョン情報が取得できる
 - ビルド時に変数にしてインストール先ディレクトリに指定できる



毎パッチごとにビルドできる！

パッチ番号を取得するには

```
VIM_VERSION=$(git log | head |  
grep Add | awk -e '{print $3}' |  
sed -e 's/v//g' | sed -e 's/-/./g')
```


demo1

ビルドするスクリプト



シェルの実行

シェルスクリプト

```
VIM_VERSION=$(git log | head | grep Add | awk -e  
'{print $3}' | sed -e 's/v//g' | sed -e 's/-/./g')  
cd src  
nice -n19 ionice -c2 -n7 make autoconf  
nice -n19 ionice -c2 -n7 ./configure --prefix=/home  
/raa0121/.vimenv/versions/vim$VIM_VERSION --with-  
features=huge --with-compiledby="raa0121  
<raa0121@gmail.com>" --enable-multibyte --enable-  
rubyinterp=dynamic --enable-pythoninterp=dynamic  
--enable-perlinterp=dynamic --enable-  
luainterp=dynamic --enable-gpm --enable-xim --enable-  
cscope --enable-fontset --with-python-config-dir=/usr  
/lib/python2.7/config --with-luajit  
nice -n19 ionice -c2 -n7 make  
nice -n19 ionice -c2 -n7 make test  
nice -n19 ionice -c2 -n7 sudo make install  
sudo chown raa0121:raa0121 -R /home/raa0121/.vimenv
```

demo2

ご清聴ありがとうございました